

MENU

<活動のご報告>

中部部会見学会 p1

見学会アンケート結果 p5



2014年12月24日(水)、
現在日本に寄港している中では最大のコンテナ船「MAERSK EFFINGHAM」
(総トン数 141,649トン、全長 366.32m) が名古屋港に初入港しました。

活動のご報告

平成 26 年度 中部部会見学会

平成 26 年度 当中部部会 見学会を
3月12日(木)に開催いたしました。

今回の見学会は、日本初の自動化コンテナターミナルを管理運営している「飛島コンテナ埠頭株式会社(TCB)」を 25 名(事務局含む)にて訪問・見学させていただき、同社総務グループの福原様をはじめ皆様に大変丁寧にご対応をいただき、盛況の中、開催することができました。

(次ページに続きます)



活 動 の ご 報 告

平成 26 年度 中部部会 見学会

コンテナターミナルの概要説明

はじめに、今回の見学会に先立ち、当中部部会の林会長より、ご挨拶を申し上げます。

飛島コンテナ埠頭株式会社の概要説明については、同社総務グループの福原様より、プロジェクトをご用意いただき、同社にて管理運営する飛島ふ頭南側コンテナターミナルが整備された経緯や、IT を活用し高サービス・低コストを提供する自動化コンテナターミナルのシステム、また他のコンテナターミナルとの違いなど、多岐にわたり詳細に説明していただきました。

説明の最後には、質疑応答の時間をとっていただきました。そして、見学会参加者からの様々な質問に、大変丁寧に答えていただきました。



概要説明の様子



ヤードレイアウトの特徴説明

飛島ふ頭南側コンテナターミナル

飛島ふ頭南側コンテナターミナル(CT)は、大型コンテナ船に対応できる水深(-16m)の耐震強化岸壁を備えた高規格コンテナターミナルとして、2005(平成17)年、第1バースが、2008(平成20)年に第2バースが供用開始されました。

同じ飛島ふ頭内東側の直線2.2kmに及ぶコンテナターミナル(飛島ふ頭北・NCB・飛島ふ頭南)と、鍋田ふ頭の連続3バースのコンテナターミナルと共に、名古屋港のコンテナ物流を担う一大拠点となっています。



(南西から北東方向への名古屋港空撮写真)

飛島ふ頭南側コンテナターミナル 全景



飛島ふ頭南側 CT は、水深-16m、総延長 750m の耐震強化岸壁、22 列対応の超大型ガントリークレーン、奥行 500m の広大なコンテナヤードを備えており、世界初となる遠隔自動 RTG（ラバータイヤ式ガントリークレーン）、日本初となる自動搬送台車（AGV）を導入するなど、IT を活用して効率的な運営が行われています。

飛島コンテナ埠頭株式会社（TCB）は、船社・港運・荷主系物流会社からなる 10 社が共同で設立した民間ターミナル運営会社で、コンテナターミナルの運営はもちろん、ガントリークレーンなどの一部の施設整備も自ら行っています。

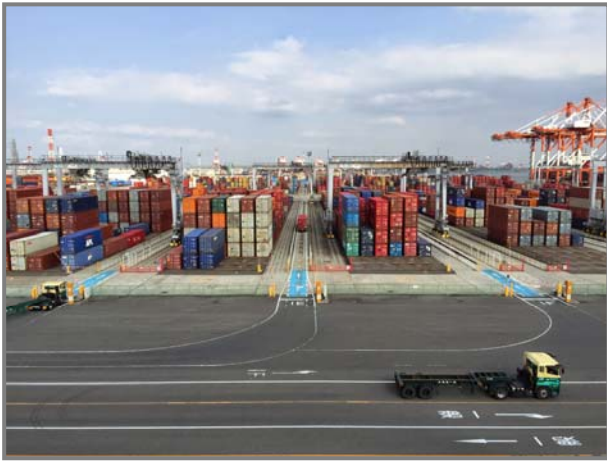
コンテナターミナルの施設見学

概要説明をお聴きした後は、実際に自動化ターミナルの稼働状況を見学させていただきました。当日は、ちょうど第 1 バースにコンテナ船が停泊しており、本船荷役も見ることができました。

見学会参加者からの施設を見ながらの質問に、ここでも同社の皆様に大変丁寧にご説明いただきました。



管理棟屋上からのターミナル見学



ヤードはIT 技術を活用し
各レーンに効率的にコンテナを蔵置



第 1 バース（写真左奥）にて
本船荷役中

第 1 バースでは、自働搬送台車 (AGV) がコンテナを積んで走行し、本船荷役中のガントリークレーンとヤードとを往復する様子も見る事ができました。

AGV は、無線通信で自動制御されている無人のコンテナ搬送用台車です。

(右の写真は名古屋港管理組合提供)



RTG 遠隔自動操作の見学

次に、管理棟内の遠隔操作室へご案内いただき、RTG の遠隔操作を見学させていただきました。少人数のオペレーターが、モニタ映像で確認しながら無人の自働 RTG を遠隔操作し、安全・確実に効率よく外来トレーラーへのコンテナ積降が行われています。



RTG 遠隔操作を見学



遠隔自働 RTG と AGV の稼働状況
(名古屋港管理組合提供)

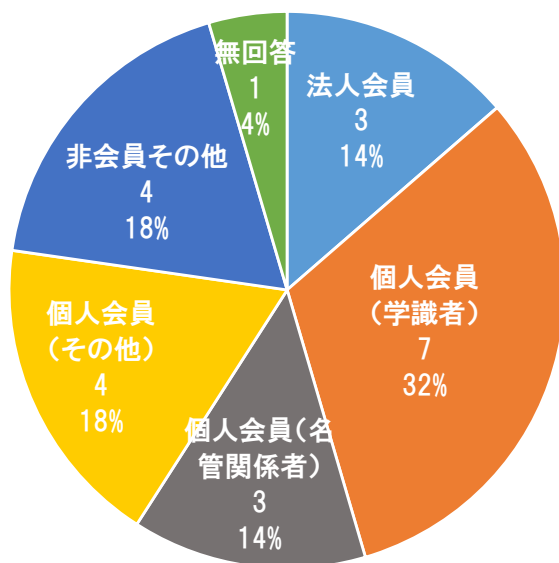
見学会のアンケート結果について

平成 27 年 3 月 12 日（木）に開催しました日本港湾経済学会中部部会 見学会にてアンケートを実施いたしましたので、結果をご報告いたします。

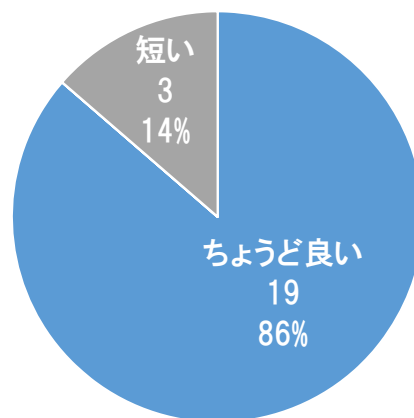
多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。今後見学会を開催する際の参考とさせていただきます。

回答数 21 名 / 参加者数 22 名（事務局除く）
回答率 95%

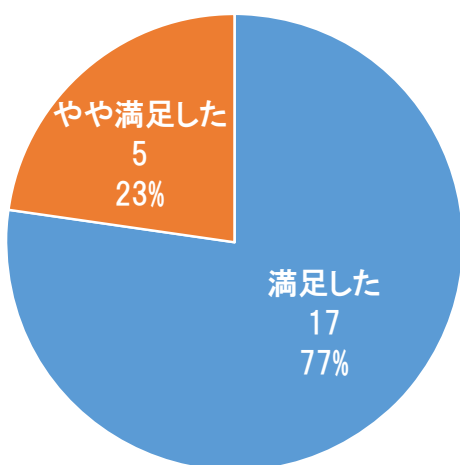
見学会参加者の会員種別 (単位：名)



見学会時間の長さ (単位：名)



見学会の感想 (単位：名)

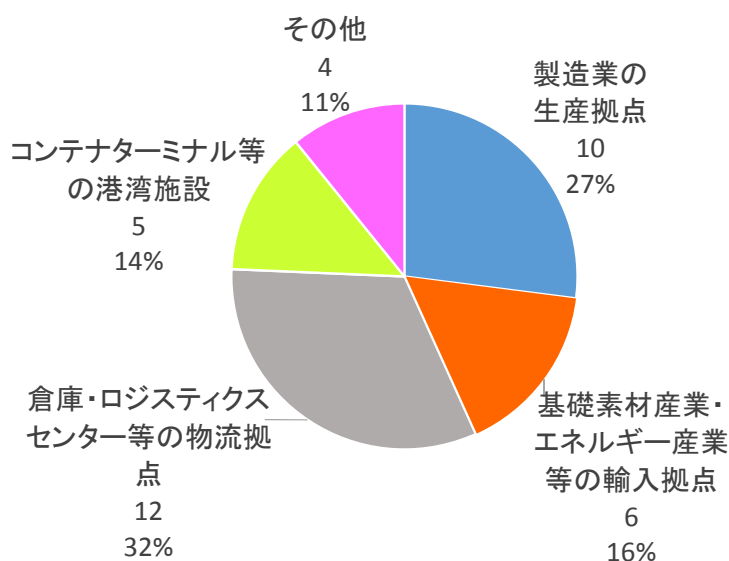


感想の理由

最先端が見学できた
 知らなかったことが意外に多かったため参考になりました。
 わかりやすい説明であった。
 説明が分かりやすかった。
 見学できて良かったです。
 世界初の自動コンテナターミナルの技術の凄さを知れた。
 十分な質疑応答ができたので。
 最新バースのシステムなど面白かった。
 C T内の作業員無人化の進展具合を説明して頂けた為
 普段見学困難な施設を拝見できたこと
 流れ（各所の説明・あいさつ）はしっかり事前に準備・確認した方が良いと思います。
 コンテナを積み込むシステムを見てある程度分かった。知らないことがたくさんありました。
 大変進歩したやり方を初めて見た。
 オビに短しタスキに長し
 人物・担当者が良かった

今後の見学会で見学したい施設

(単位：回答数)



具体的希望先

NACCS の処理システム

食品

外資系ファンドの運用するスーパー物流倉庫など

航空宇宙関係の工場

飛行機関連の工場見学、川重 or 三菱

今後聴きたい講演内容

国際物流における港運業の役割

NACCS による電子化

NUCT や自動車荷役のシステム見学

是非食品に関する施設を見てみたい、講義ききたい

経済連携 (EPA、FTA) について

地震、津波への対応策

船社、港運の実状

その他ご意見・ご感想

良く頑張ってやって頂いていると思っています。ご苦労様です。
現場の説明時間が不十分では？

(時間) 少し長くても良い

いつもありがとうございます

日本港湾経済学会中部部会ニュースレターに関するご意見、ご要望、ご提案、お問合せがございましたら、事務局までご連絡ください。

配信停止を希望される場合は、お手数ですが配信停止の旨を右記までご連絡ください。

■ 日本港湾経済学会中部部会 事務局 ■

名古屋港管理組合 企画調整室 企画担当内

すえとみ
担当: 神野、末 富

〒455-0033 名古屋市港区港町1番11号

TEL: 052-654-7968 FAX: 052-654-7997

E-mail: suetomi@union.nagoyako.lg.jp

日本港湾経済学会中部部会ホームページ URL: <http://www.portecon-chubu.com>

名古屋港管理組合ホームページ URL: <http://www.port-of-nagoya.jp>